

『デュタステリド内服中の前立腺がん検出に関する多施設共同後ろ

向き観察試験』のお知らせ

- ・ 前立腺肥大症にて当科でアボルブが処方され、前立腺針生検を受けられた方の治療経過を検証します。御本人への不利益は一切ありません。
- ・ 対象となるのは、2010年1月から2016年3月までにアボルブ内服中に前立腺生検を受けられた方で、研究期間は病院長承認日から2017年12月31日までです。目標は200例です。
- ・ 匿名化しているので患者さんの個人情報、外部に漏れることはありません。集められたデータは、施錠した部屋で厳重に管理します。
- ・ 既存の資料を用いて、個人を特定しないため、インフォームドコンセントは、必ずしも必要としない研究です。
- ・ 研究費の助成などは受けていません。
- ・ 学会などの発表の際には、個人情報保護に留意し、個人の特定が出来ないようにします。
- ・ 患者さんのなかでこの研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡下さい。

- 前立腺がんの研究にご協力をお願いします。

担当者

札幌医科大学附属病院 泌尿器科

研究責任者：舛森直哉

研究分担者：福多 史昌、進藤 哲哉

- 不明な点は、下記まで御連絡下さい。

連絡先 〒 060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 泌尿器科

TEL：平日 011-611-2111 内線 3472 (教室)

夜間・休日 011-611-2111 内線 3478 (南4階病棟)

このお知らせは、「文部科学省・厚生労働省 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲載しています。